

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2022年1月号(第155号)

発行責任者 中原 幹男



新体制での新年を迎えて

事業部長 松尾基昭

未曾有のコロナウイルス感染問題を経験してほぼ2年。AFTER コロナという言葉もちろほら聞こえはじめ、今年こそはWITH コロナも脱却できるかと期待していたのですが、オミクロンと名付けられた新型コロナウイルス変異株が出現。またまた制約的な日常生活を強いられるのかとの疑心暗鬼の中で新春を迎える事となりました。

世界を見据えても環境問題、米国を中心とする西側諸国と中国、ロシアとの外交・軍事問題、コロナ禍に起因する経済不況等先の見えにくい問題が山積しています。

更に、日本の場合は、急激な人口減少、高齢化問題や低成長の課題等困難な状況に直面しております。

今や、各々の問題が、直ぐに我々の日常生活と密接に結びついており、新年を迎えても明るい話題や抱負が見つけ難い状況にあると感じております。

今般、こうした中で何とか足元から明るく楽しい話題作りをできないかと懸命に考えている折り、中原新会長より、ところざわ倶楽部の15期新体制の方針として「明るく楽しく元気を取りもどしましょう」という力強い前向きなスローガンが打ち出されました。

事業部としても、このスローガンの下、厳しい環境にもめげずこの一年を「アイデアと工夫」を凝らしながら、会員の皆さんと一丸となって乗り切っていければと切に思っております。

ここに、各企画へのご参加・ご協力を改めてお願い申し上げますとともに、新春にあたり会員皆様方のご健勝を心より祈念致します。



健康増進セミナー開催のご案内

事業部長 松尾 基昭

掲題の件について、一部総会にて説明いたしましたが、今般セミナーの内容を具体化し、開催することとしました。一般の方を含め、会員皆様の奮ってのご参加を心よりお待ちしております。
尚、当日は、手指の消毒、検温の実施、マスク着用等万全な感染対策を実施の上、開催いたします。

《開催概要》

- ・開催日時 2022年2月27日(日)
13時30分～16時
- ・開催場所 所沢市中央公民館ホール
- ・講演会名 健康増進セミナー
- ・講師名 井手特任研究員(千葉大学予防医学センター)並びに、ところざわ倶楽部の特別会員栗原香菜氏(スマイルパイレーツコーチ)
- ・参加募集定員 約140名(一般を含む)
- ・参加費 無料

《開催趣旨》

講演会「社会参加を通じての健康づくり」とチアダンスの「笑顔・元気・応援する気持ち」をコラボレーションし、今年度のところざわ倶楽部のスローガン「明るく、楽しく、元気をとりましょう」を実践するための企画です。

《開催経緯》

一昨年、コロナ禍で一斉に人が集うことが出来ない中、サークル紹介で動画撮影出来ないかとのアイデアからスマイルパイレーツの練習風景を見て、栗原コーチの笑顔・元気を引き出す見事なリーダーぶりにヒントを得、健康講座とのジョイント企画を考えました。

《開催内容》

講演会名を「健康増進セミナー」とし、第一部は、「色々な形で社会との繋がりの頻度の多寡」が、地域全体の健康づくりにも影響がある事を実態的かつ科学的なデータに基づいて解説していただきます。この分野の先端的研究者である千葉大学予防医学センター近藤克則教授の門下生の井手特任研究員による「社会参加を通じての健康づくり」講座です。

第二部は、栗原コーチによるリードで、簡単なチアダンスを通して、チア精神「笑顔・元気・応援する気持ち」を体験していただきます。

尚、当日はスマイルパイレーツと Roots(社会人チアダンスチーム)も参加予定です。



2年超に及ぶ新型コロナウイルス感染は、世界的な疫病の拡大の時代として人類史上に刻まれることになり

ました。あらゆる時間・場所でこれまでの日常の在り方が問われ、新たな対応を学ばざるを得ない状況となりました。

何かと引きこもりになりがちな時代の「WITH コロナ時代の健康づくり」に一役でもお役に立てればと願っています。

ところざわ倶楽部の新たな視点からの活動とご理解頂き、是非成功させ今後に繋げたいと思います。会員皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。



特別会員寄稿

最期まで尊厳をもって生きられる社会を

早稲田大学 人間科学部
教授 加瀬 裕子

明けましておめでとうございます。

ところざわ倶楽部の皆様には、
いつもお世話になっております。

まず、佐藤重松前会長には日本在宅ケア学会の在宅ケアガイドライン作成にあたり、市民委員になっていただきました。これは海外の優れた論文を選び、日本に応用しようというものですから、読みこなすことさえ難しい仕事です。また、学生の卒業論文作成にあたっては、4名の方を早稲田大学にお招きして、コンピュータ操作の実験に参加していただきました。さらに、太平洋戦争におけるご経験や戦後の変化について、インタビューさせていただいた学生もおります。

このような交流の中で、私自身も会員の皆様と個人的にお話をする機会をいただきました。例えば、銀行員をされていた方が、実はマルクス経済学を専門に学ばれ、その知識で現在の不況を分析されていることを話してくださいました。学生時代に学んだ知識や価値観は、一生役に立つものなのですね。学生に伝えたい経験が増えました。

福祉や介護の仕事では、経済学的に言えば「価値を生み出せない人々」を対象とするので、価値観はとても重要です。つまり、人間には生まれながらに価値がある、という立場に立たないと福祉や介護はできないのです。私の友人の施設長さんは「目の前の人も、私を通して、尊い存在である自分自身に目が開かれていますように」と願って、精神障害を負う人々の世話をしています。金銭的余裕がなく、地位もない人間は、往々にして価値のない人間として世間から見下されることになります。自分自身も自尊心を失うかもしれません。そのような人に「あなたは価値がある」と伝えられるのは、すごいことだと思います。

私は社会学者ですので立場は違いますが、人が尊厳をもって生きられる社会を実現することは、私たちの使命だと思っています。なぜならば、人は生・病・死のリスクを抱えながら生きており、少しの「不運」

により他者からの支援が必要となるからです。そうした他者に依存する人間を切り捨てないシステムを持ったからこそ、牙も爪もない動物である人間が生き延びてきたのです。

価値観と言えば、この頃のわが国ではおそろしいことが起こっているような気がします。新型コロナウイルス感染症が蔓延して以来、様々な愚策が行われました。アベノマスクは当初事業費 466 億円、約 8000 万枚を使い残し、これまでに保管料も 6 億円かかっているそうです。しかし、私がそれより問題だと思うことは、文書改ざん、情報操作、国会軽視といった民主主義政治の根幹を無視する風潮を、国民が批判をしなかったことです。現在も、18 歳以下のこどもがいる世帯に 10 万円を配ることで、6 月の参議院選挙を有利に乗り切る策を講じていると報道されています。国民は政治の「価値観」ではなく「利害」によって政策を判断すると、政府は考えているようです。

現在、福祉と介護の分野で「価値観」と「利害」の混同が起きているのではないかと思われるのは、施設の「面会中止」問題です。「高齢者を守る」という名目のもとに行われているのですが、居住する高齢者が家族と会えない状況が 2 年も続いているのです。

ワクチン接種により重症化リスクが少なくなり、大都市圏はともかく、感染者ゼロの地方が多くなりました。それにもかかわらず、高齢者サービス付き住宅でさえも、家族の立ち入りを禁止しているところがあるので、施設のガラス窓を隔てて面会し、携帯で話をする姿は、アメリカ映画に出てくる、刑務所の面会に似ていると感じるのは私だけでしょうか。

そのように厳しく予防対策をする一方で、併設するデイサービスでは入居者を自宅から来る高齢者と一緒にサービスを受けさせます。

介護関係者は、「高齢者を守る」という判断がほんとうに「人としての尊厳」を守ることになっているか、また、「施設経営を守る」という利害判断にすり替わっていないか、常に自問自答してほしいものです。

環境問題シリーズ 第15章

「第6次エネルギー基本計画案」へのパブリックコメント

地球環境に学ぶサークル 河登 一郎

菅前首相の2050年カーボンニュートラル宣言とそれを見据えた2030年度の「温室効果ガス46%削減」に対応し、経済産業省は「第6次エネルギー基本計画」を策定し、昨年9月にパブリックコメントを募集しました。それに対し、私が提出した10のうち4点につき以下に紹介します。

「第6次エネルギー基本計画」が示す2030年度の電源構成は、再生可能エネルギー比率が従来目標の22～24%から36～38%に引き上げられ、原子力発電は20～22%に、火力発電のうちLNG20%、石炭19%、石油2%、水素・アンモニア発電を1%としています。

1. 最初に申し上げたいこと：

- ・政府の原案が出されたが、その目的は「国／国民のため」でなければなりません。
- ・当然のようですが事実は当然ではありません。政策当局者の真の目的は、時に（多くの場合）「利権という私益」が目的になっています。「私益」とは、例えば、「巨額の予算獲得」或いは「天下り先の確保/優遇」も立派な私益です。
- ・2050年カーボンニュートラル政策検討に当たって、民間のNPOの中には、単なる理想論／抽象論ではなく、定量的に各論を積み上げた議論で、「2030年時点で、原発ゼロ・石炭火力ゼロが比較的限られた予算で実行できる。しかも、雇用も増える；GNPも増え、財政支出は大きく減る」と主張しています。（東北大明日香寿川教授とそのグループ：自然エネルギー財団：FOE その他）。十数名の専門家が議論し真面目に積み上げた数字です。政府も謙虚に学んで欲しいと思います。
- ・日本の財政は大変に厳しい。だから政府案のように巨額の予算は使わずに、既存技術を中心に「安上がり」でカーボンフリーは実現し、余った予算は、医療・教育・環境・福祉など真に必要な使途に向けるべきです。これこそが真の意味で国民のための政策です。

2. 原発関連：「脱原発」を国の方針とすべきです。

- ・基本計画はきれいな作文になっているが、実態は遙かに厳しいと思います。
- ・廃炉措置、燃料デブリの処理・処分、使用済燃料棒の処分先・方法とも重要なことが決まっています。その中で、多くの原発の再稼働；40年超稼働；中小型原発の開発；原発の新增設などは行うべきではありません。
- ・原発は稼働中こそCO₂を排出しないが、開発・加工・輸送・廃棄物処理を含むトータルでは大量のCO₂を排出することを、明確に認識すべきです。
- ・コスト面・環境面を含めて原発は過去の技術です。
- ・既に複数のNPOグループが「実証」しているように2030年では再生可能エネルギーで50～60%（残りは天然ガス）、2050年では同じく100%のエネルギーを供給可能です。
- ・トリチウムを含むALPS汚染水の海洋放棄は行うべきではありません。漁業組合への「関係者の理解無しには処分しない」という約束は守られるべきです。風評被害が大きいのです。

3. 2030年：原子力と石炭火力はゼロが可能。

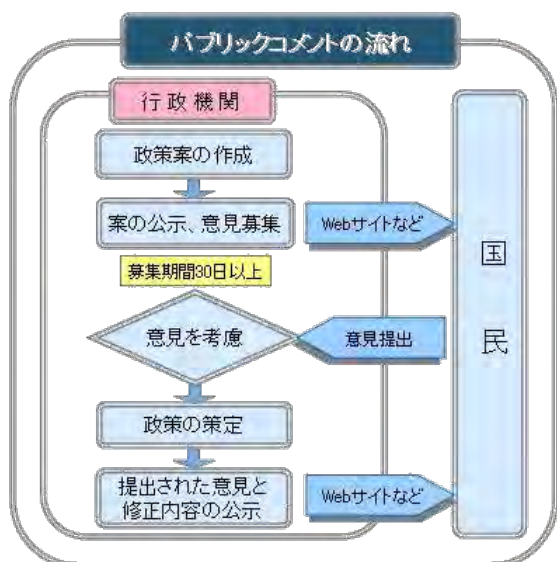
2050年：100%再生可能エネルギーが可能。

- ・石炭火力温存のために、水素やアンモニアを含む新技術を新規に開発する意味はなく、税金の無駄遣いです。
- ・政府の独断は誤ります。パブコメや公聴会は、「形式的な経過措置」としてではなく、民意を反映／採用すべきです。

4. 対話や双方向型のコミュニケーションが大切というのは正しいことです。これを「作文」に終わらせないために「政府の委員会」の委員の半数は政府案に批判的な学者/専門家を入れるべきです。

※経済産業省のホームページから

第6次エネルギー基本計画、及び概要等がダウンロード出来ます。是非お読みください。



「世界の平和を考える」シリーズ 第8回

香港の昔と今

杉浦 正紀

香港が中国へ返還されてから 24 年が経ちました。

私が香港へ赴任したのは、返還（1997 年）前の 1990 年から 1992 年の 2 年間でしたが、当時の香港はまだイギリス統治下で広さは東京 23 区より狭い土地に 573 万人の人々が平和な生活を送っていました。

あらゆる中華料理（広東、北京、四川、満州料理等々）がおいしく食べられ、休日の夜となるとマンションのあちこちから麻雀牌をかき混ぜる音が聞こえ、土日になると場外馬券売り場で大勢の人が集まり、ハッピーバレー競馬場、沙田競馬場の競馬を楽しんでいました。（香港の人は賭け事が大好き）

返還前ということもあり多くの人が不安を抱え、何人かの人々が海外（カナダ、オーストラリア等）への移住も考えていましたが、ほとんどの人が返還後香港へ戻ってきたようです。

押し並べて当時の庶民の生活ぶりは、質素で楽しく平和そのものという感じがしました。



2020 年 6 月 30 日、香港国家安全維持法が成立し、即実行されました。この時をもって、香港の一国二制度は終わりを告げました。

但し多くの日本人は他人事だったようです。日本人は、幸せなことに、自由と民主主義にどっぷりとつかうことができています。自由は何なのか、民主主義とは何なのか、どうしてそれらを日本人が手に入れているのかなどのことを考える人は多くはないでしょう。

今でこそ、コロナ禍で海外に旅行することはなかなか難しいのですが、一昨年までは、いつでも、どこにでも行くことができました。

自由民主主義も、平和も、すべて私たちが物心ついた時からありました。それは空気と同じように、気にすることもなく、考えることもありませんでした。

しかし、それは非常に恵まれた国の人々にしか与えられていません。多くの国の人々は、それを求めて命をかけてきています。



今の香港人もそうでしょう。自由と民主主義と平和な生活のために命をかけていたのです。

しかし、その香港人も 2020 年 6 月までは自由に中国共産党や中国政府を批判することができ、（弾圧は加えられたが）一国二制度のすばらしさを味わっていたのです。それが一瞬にして奪われたのでした。

自由と民主主義は常に空気のようにあるわけではない。それは日本人とて同じである。自由と民主主義のある国の方が、これだけ発達した世界でも圧倒的に少ないのです。



日本の隣国である中国もそうでしょう。そこには 13 億人を超える民がいます。日本の人口の 10 倍以上です。

香港で何が起きているのか。自由を奪われるとは、民主主義を奪われるとはどういうことか。

私たちは目を背けてはいけなと思います。

サークル活動報告

懐かしの映画・鑑賞会

内川 賢治



昨年最後の定例上映会を12月14日(火)に行いました。12月14日と言えば赤穂浪士の討ち入りです。『サラリーマン忠臣蔵』森繁久彌主演、三船敏郎、有島一郎、他昔なじみの豪華俳優キャストで、笑いを誘う映画でした。1年の締めくくりに、ふさわしい映画でした。皆様、映画って楽しいですよ！是非見に来てください。

昨年は、コロナ感染で、何回か上映会中止、台風の影響、会館畳替え等でも中止になりましたが、最後の上映会は、19名の参加を頂きました。映画は一人で見るよりは、大勢で見る方が、楽しいですね。



今日は、上映会館守り神熊野神社の『龍のしめ縄』を二上代表たちが夜を徹して作られた、出来立てのものをを見せて頂きました。疫病から守ってくれるとの伝えがあります。コロナ感染から守

ってくれます事を願ひまして、是非見に来てお参りください。

尚、令和4年寅年、最初の例会は、1月25日(火)『男はつらいよ』第14作“寅次郎子守唄”を上映します。暮らしの歳時記《新年の集い・繭玉飾り》を催します。是非ご参加下さい。

懐かしの映画・鑑賞会

開催日：毎月(原則) 第2、4火曜日

場所：熊野神社境内 西新井会館

上映時間：10時～12時

代表：二上拓夫

TEL：080-1250-6151

ドラマティック・カンパニー

方山 みどり



7月から新入会員を迎え、今は出席者も多くなり活気ある例会が続いています。

昨年は「ヘンリー四世」、「終わりよければすべてよし」を読み終わり、昨年末から「ヘンリー八世」に入りました。ヘンリー八世はローマ・カトリック教会から離脱しイギリス国教会の創設や6度の結婚、2人の妃の処刑などで有名です。また、エリザベス一世の父親でもあります。読む前から興味のある作品でした。

エリザベス一世と同じ時代に生きたシェイクスピアがどのように人物を描き、心理描写をしていくか、とても楽しみです。



ヘンリー八世



エリザベス一世

ドラカンの楽しさは皆さんと輪読して内容を深めていく事と場面、配役を決めてサークル内の発表をする事です。

昨年はサークル内での発表が出来ずに残念でした。今年に期待したいと思います。何度も練習する中で作品をより深く理解出来るようになります。これを発展させたものがところざわ倶楽部まつりでの上演です。仲間と力を合わせて成功させます。

早くコロナ感染が収まり、ところざわ倶楽部まつりが開催される事を願っています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

2月17日(木) 中央公民館 6号室 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30 及川先生講義 万葉集⑫ 15:40～16:40、例会・後片付け
 3月3日(木) バス旅行、栃木県饗阿寺と足利学校、田中正造と足尾銅山鉱毒事件関係、参加者募集中 2月21日(月) まで
 3月10日(木) 万葉集⑬最終回以下2月と同じ **聴講者 歓迎!**

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

1月19日(水) 中央公民館 8・9号室 定例会
 テーマ：講演会「中国経済は強い～そのシステムとポストコロナの世界経済」 講師：古島義雄氏 (国際経済研究者)
 2月9日(水) 中央公民館 8・9号室 定例会
 テーマ：渡邊晴雄氏による「チベット旅行記」

3. 活きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

1月26日(水) 13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
 DVD鑑賞「明日の記憶」主演 渡辺 謙
 若年性アルツハイマーと診断されたサラリーマンの感動ドラマ
 2月16日(水) 13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会(予定)
 ※2月は第3水曜日開催

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

1月11日(火) 13:15～16:30 中央公民館 3階 8・9号学習室
 プッチーニ歌劇「ラ・ボエーム」
 2月14日(月) 13:15～16:30 中央公民館 3階 8・9号学習室
 「ショパン・コンクール2021」

5. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさこ 080-5872-1868)

1月25日(火) 10:00～12:00 ふらっと 例会
 今年度の活動計画話し合い
 2月22日(火) 10:00～12:00 ふらっと 例会
 ※今年度より例会は第4火曜日に変更

6. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

1月18日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室1号
 ・定例会、環境討論会：身の回りの省エネの徹底方法
 1月25日(火) 10:00～12:00 新所沢東公民館 研修室1号
 ・読書会 リニア中央新幹線をめぐって(第3回)
 2月15日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室1号

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

2月9日(水) 13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
 定例会 テーマ「後期高齢者の社会貢献について・ほか」予定
 (SP スマイル・パイレーツ 練習日)
 1月22日(土) 13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
 ・所沢市民活動見本市(パネル展) 2月16～18日 所沢市役所

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

1月16日(日) 9:00～12:00 伊東園枯れ枝拾い
 1月18日(火) 9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 1月22日(土) 9:00～12:00 伊東園落ち葉掃き
 1月28日(金) 9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
 2月10日(木) 13:00～15:00 新所沢公民館 定例会

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

1月27日(木) 9:00～13:00 中央公民館 料理講習室
 「新年料理教室」
 2月3日(木) 11:00～13:00 中央公民館
 グループワーク発表会

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

1月22日(土) 10:00～12:00 中央公民館 3号
 シェイクスピア戯曲「ヘンリー8世」朗読 第4回
 2月5日(土)、2月19日(土) 10:00～12:00
 いずれも中央公民館 3号 「ヘンリー8世」朗読続き

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

1月25日(火) 10:00～12:30 西新井町会館
 喜劇「男はつらいよ」第14作 ～寅次郎子守唄～十朱幸代
 季節の歳時記 『疫病退散「まゆ玉飾り」』実施
 ⇒ 次回上映会 2月8日(火) 邦画「アルプスの若大将」

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

1月17日(月) 国立演芸場にて「落語鑑賞会」
 10時15分、所沢駅改札内に集合、10時29分発に乗車
 ※コロナ感染状況により変更あり。判断はメールでお知らせ
 2月28日(月) 13:30～ 未来館・多目的室2号 講座
 「脳腸相関、その切っても切れない仲」講師：鶴野沢実豊氏

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

1月17日(月) 新所沢東公民館 研修室1号定員15名
 「総会後、3グループ発足と今後の活動検討」を予定
 3G中心の今後の活動方針と日程などのグループ討議
 2月21日(月) 「2月定例会」を予定

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

1月21日(金) 10:00～13:00 こどもと福祉の未来館 1階
 定例会 2月度に録画・録音予定の『とんぼの宿り木』を
 中心に読み合わせ
 2月18日(金) 定例会 こどもと福祉の未来館

理事会報告

12月13日 第15期第1回理事会が、高橋信行、佐野喜代子、田沼幹子、野口喜美夫、茂出木正和の新任五理事も加わって中央公民館で開催されました。
 中原新会長からは、「明るく楽しく元気をとりもどしましょう」と、コロナに負けない活動再開を目指して、企画・運営をして行きましようとの意気込みが示されました。

事業部：2月27日(日) 13:30～16:00 中央公民館
 「健康増進セミナー」1部「講演」、2部「実技指導」
 広報部：1月26日(水) 13:00～17:00 新所沢公民館
 「パソコン相談会」を開催
 総務部：1月17日(月) 10:00～12:00 新所沢東公民館
 第15期 第2回理事会開催

みんなの広場 第35回

「詩吟雜感」

民話の会 高橋 紳泰



文中参考資料として
サミュエル・ウルマン 著

“吟ずれば 今日の体調 夏風のごと”

今日と云うのは一寸大げさですが、夏のあの涼しい風をあびた気分。

詩吟の主流はもちろん漢詩ですが、漢詩のみならず、和歌、俳句、私の教本にはなんとサミュエル・ウルマンのあの名文迄載っています。一寸驚きますが、そうあの「青春時代」の森田公一も歌にして歌っている様に。

中国唐の時代、杜甫、李白、白居易・・・
日本でも平安の菅原道真等から明治時代の元勳や多くの学者達ほか多士済々。

ところで、私などまず日本では頼山陽の川中島を思いますが、この詩「不識庵機山を撃つの図に題す」というのが題名で不識庵が謙信、機山が信玄とは。

謙信も信玄も自ら漢詩を作っています。
 信玄の「よう鏖殺す江南十万の兵、腰間の一劍血猶なおなまぐさ腥し」
 詩を通して故人の心に触れます。

思へば高校時代、国語の教師が教室の中で「渭城の朝雨」王維 を吟じて、それが詩吟とのふれあいでした。

むさし野俳句会（令和四年一月）作品抄

狂乱の銀杏落葉やゴツホ展
 コーヒー手に円座の大工日向ぼ
 林床を染めてなほ散る冬黄葉
 免許更新咳を呑み込む受講生
 空き箱に客は七人里神楽
 北風や少年野球声高し
 誰彼の回忌折折る十二月

小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
利根川啓二
中嶋 弘子

蟬氷舐めてごらんと愛犬に
泥つきの根菜もらふ蕪村の忌
手の平に香り集める柚子湯か
街中に音をちりばめ聖夜かな
冬銀河唯一無二の吉右衛門
枯蔓を力まかせに引きにけり
あかつきの工事渋滞年の暮

橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
鈴木 征子

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。

第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 佐藤(八) 2948-8247 中嶋 2994-6045 海老澤 2922-0259

《編集後記》

令和3年の新語・流行語大賞は「リアル二刀流 / ショータイム」だった。緊急事態宣言下、日本中を暗く不安な空気が覆っていた時、大谷選手の活躍は私達の心を明るくしてくれた。又、今年の漢字は「金」と発表された。賛否両論のオリ・パラ開催だったが、日本選手の活躍に元気をもらうことができた。パンダの双子赤ちゃん誕生も心をなごませてくれた。

さて、菅政権から岸田政権に変わり、衆院総選挙の結果はご承知の通りで政治変革は当面起こりそうもない。地球温暖化対策に消極的な日本は、不名誉な「化石賞」を受賞した。

ワクチン接種が進み、令和4年はコロナと共存できるかな、との思いは「オミクロン」の出現で崩れさった。あと数日でコロナ禍に耐えた、令和3年は幕をとじる。ワクチン3回目の接種が進み、1日も早く穏やかな日常が取り戻せることを願いながら新年を迎えたい。

(川上：記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳〔六十九〕作品発表選 中島峯生

課題「飲む」

良薬と言つて飲ませる砂糖水
保証人煮え湯飲まされ無一文
コロナ禍でほろ酔い帰宅ない時世
ニユーシユーズ足取り軽く落葉踏む
こだわつて飲むコーヒーは元氣でる
最後まで飲まれたのはどっちなの

「自由題」

病院のロビーを埋めるジジとババ
ウィルスの名前覚える暇がない
二年ぶり会えて句会盛り上がる
やりくりと見栄を混ぜてのお年玉
若かりし頃を偲んでズーム会
オミクロンコロナで学ぶギリシヤ文字

突拍子 詔 簞 どんし 庵閑子 縄文人 りんご好き 縄文人 庵閑子 縄文人 りんご好き 庵閑子 どんし 海さる

次回（第70回）課題「替える」そして「自由題」

締切り日：1月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@icom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161